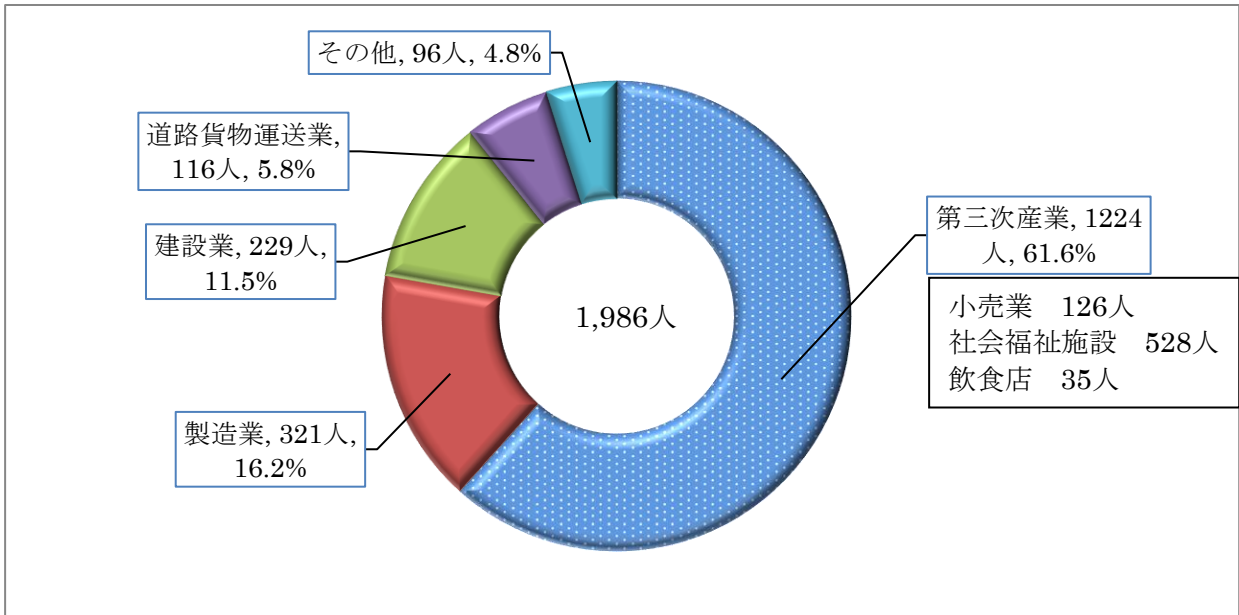


令和 4 年 労働災害（休業 4 日以上）発生状況（10 月末現在）

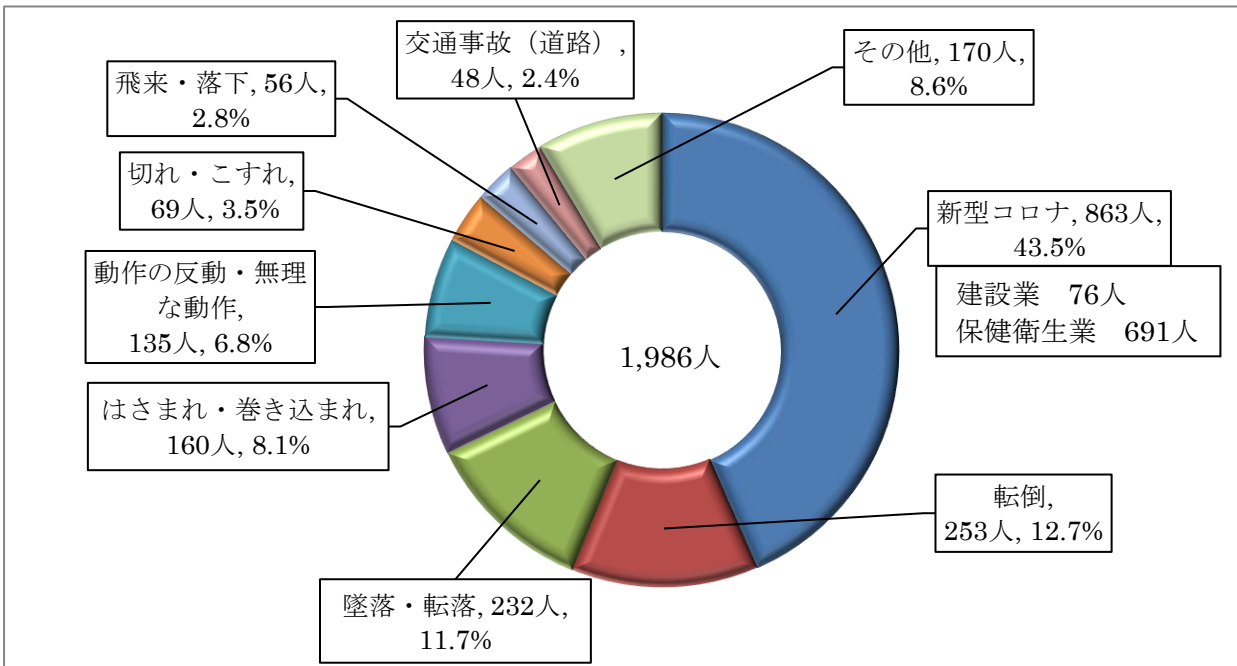
愛媛労働局

1 業種別死傷災害発生状況



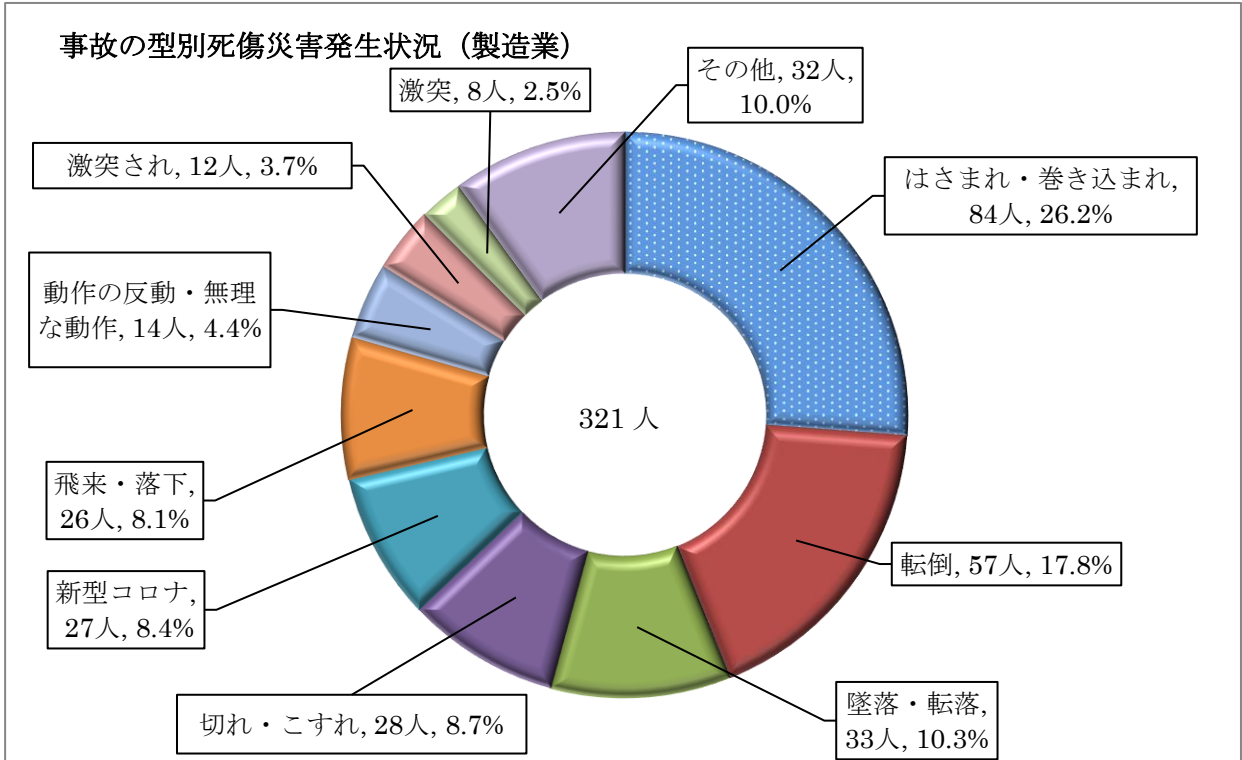
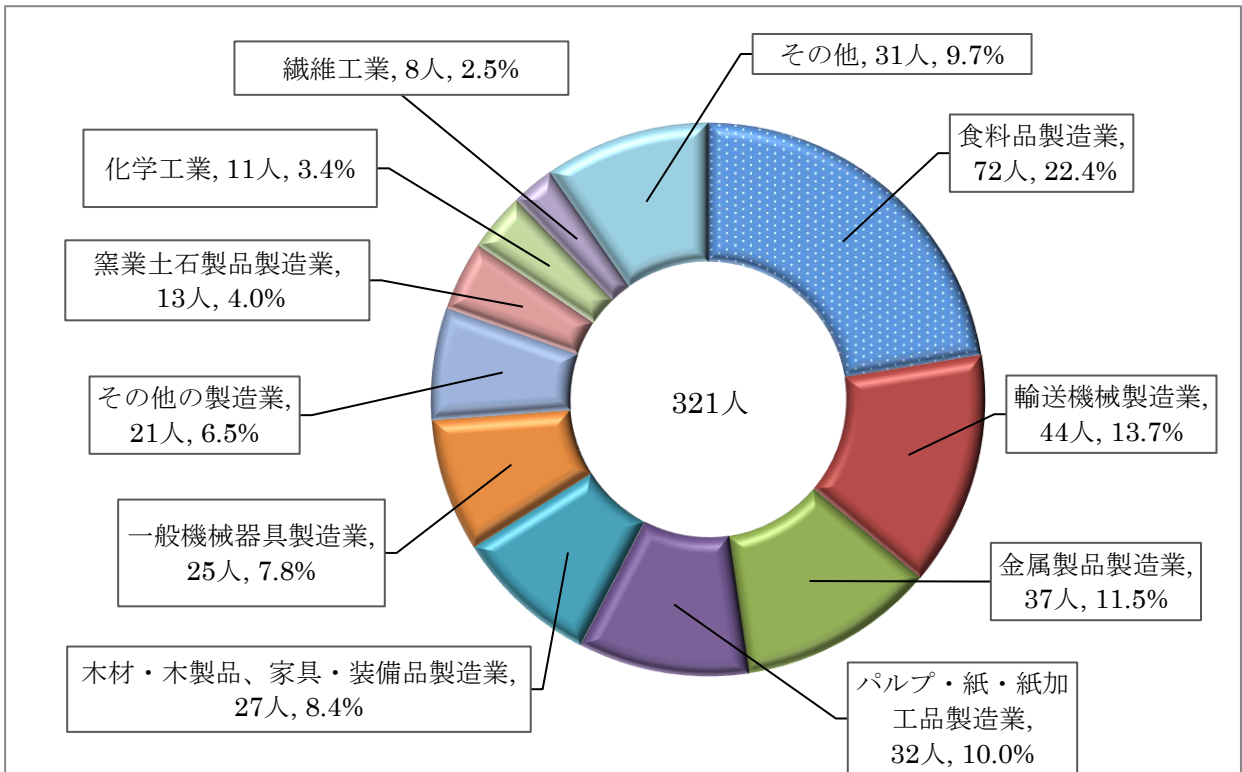
- ・第三次産業が全産業の 61.6% を占める
- ・新型コロナウイルス感染症を除くと、全業種の前年同期比で +6 人 (0.5%) の増加となっており、特に増加が顕著な業種は、接客娯楽業 (12.8%)、保健衛生業 (10.5%)、建設業 (10.1%) である。

2 事故の型別死傷災害発生状況（全産業）



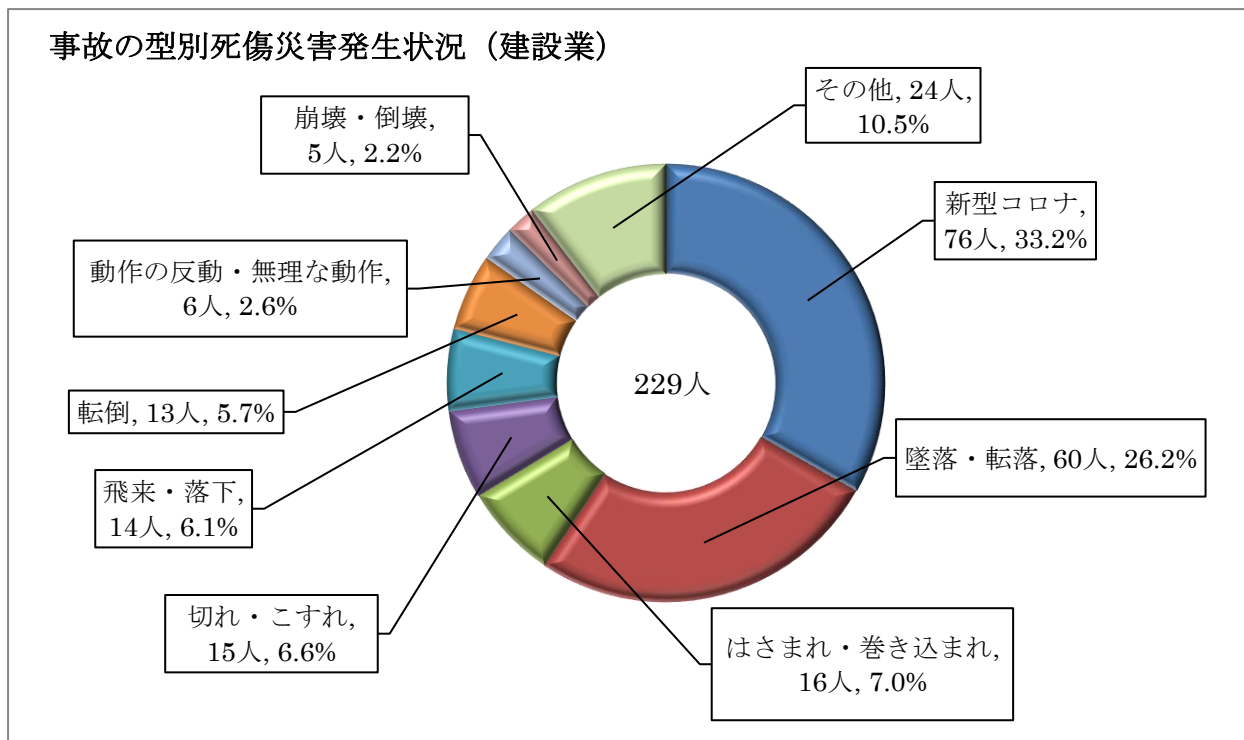
- ・「新型コロナウイルス感染症」が 43.5% を占め、特に保健衛生業や建設業での感染者が多い
- ・次いで「転倒」、「墜落・転落」、「はさまれ・巻き込まれ」、「動作の反動・無理な動作」の順に多い

3 製造業における死傷災害発生状況



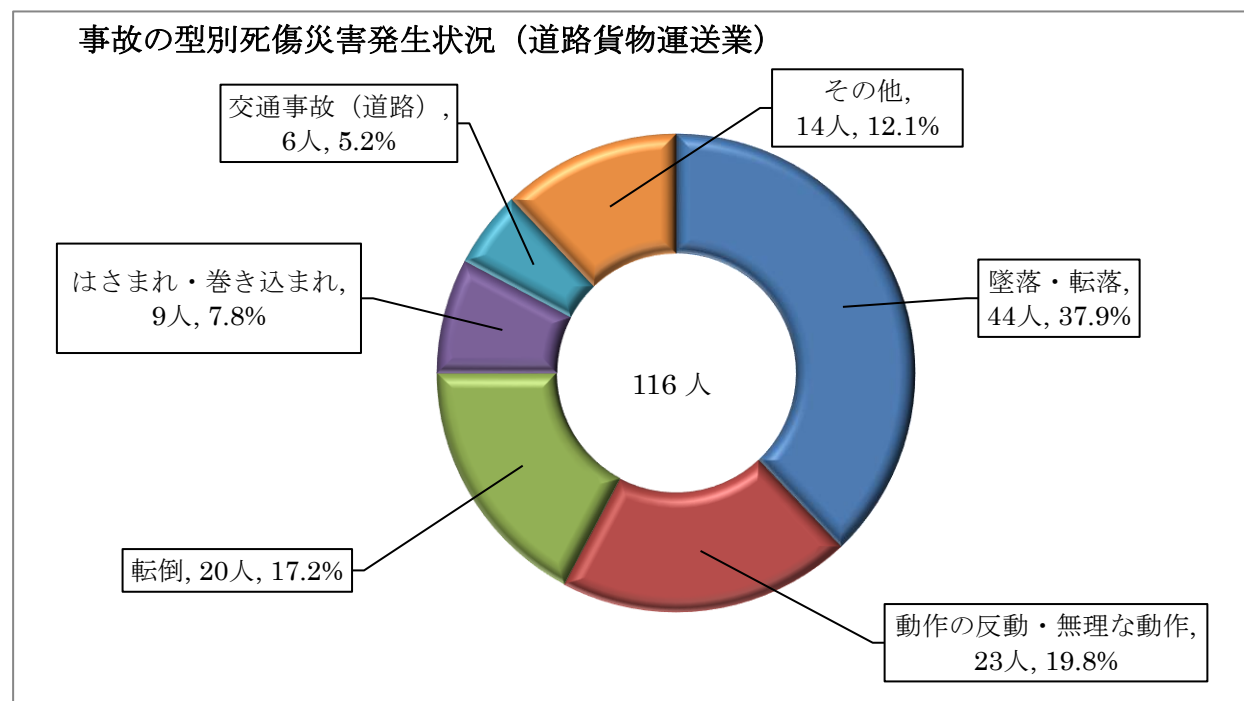
・「はさまれ・巻き込まれ」が最も多く26.2%を占め、次いで「転倒」が17.8%を占める

4 建設業における死傷災害発生状況



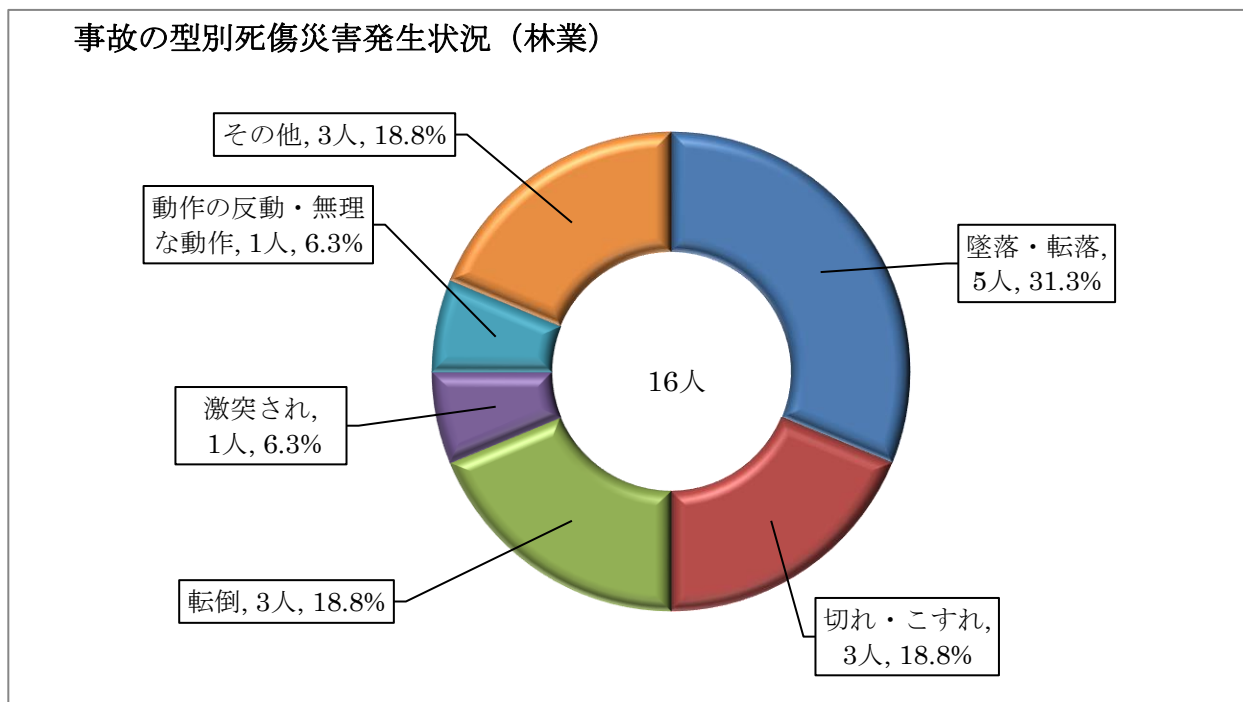
・「新型コロナウイルス感染症」が最も多く 33.2%を占め、次いで「墜落・転落」が 26.2%を占める

5 道路貨物運送業における死傷災害発生状況



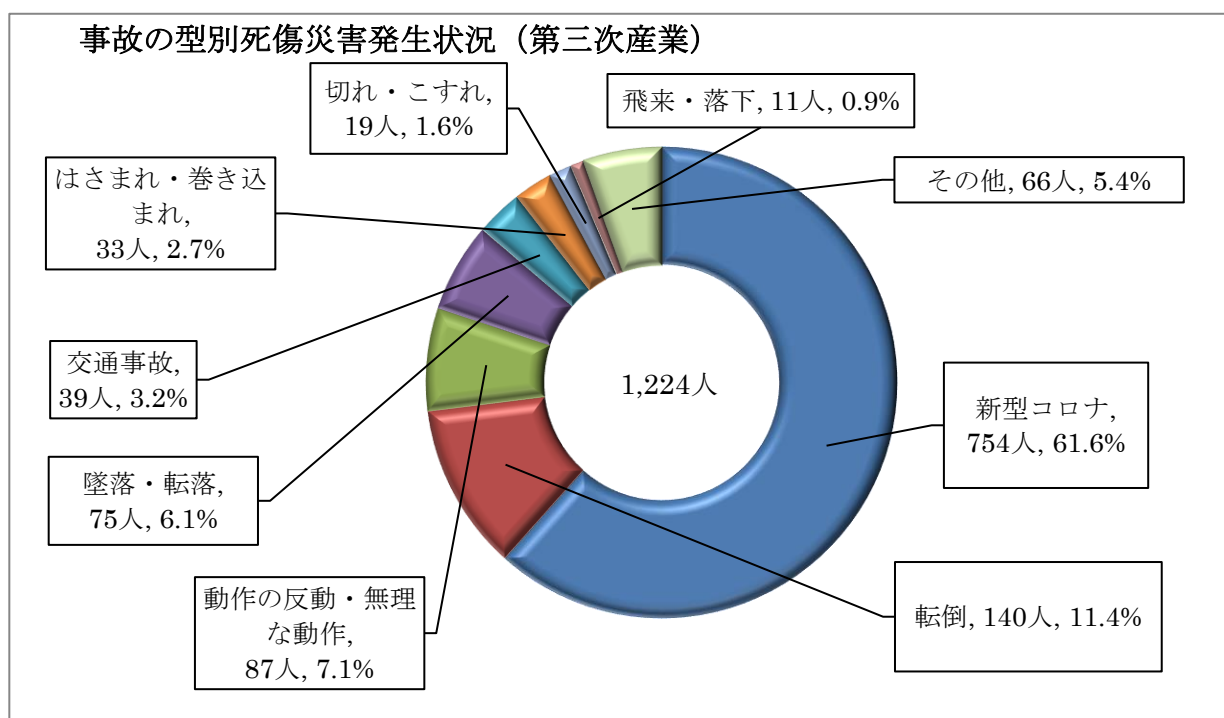
・「墜落・転落」が最も多く 37.9%を占め、次いで「動作の反動・無理な動作」が 19.8%、「転倒」が 17.2%を占める

6 林業における死傷災害発生状況



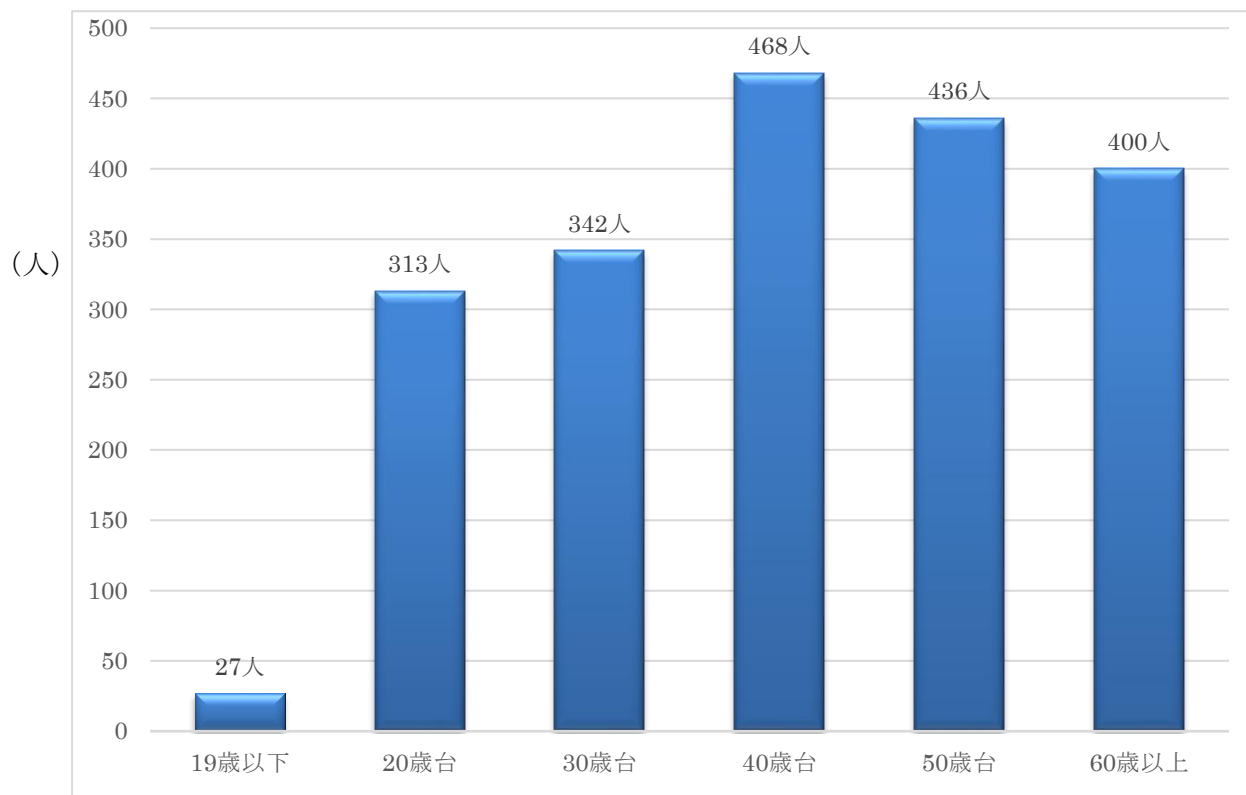
・「墜落・転落」が31.3%を占め、次いで「切れ・こすれ」及び「転倒」が18.8%を占める。

7 第三次産業における死傷災害発生状況



・「新型コロナウイルス感染症」が61.6%を占め、次いで「転倒」が11.4%を占める

8 年齢階層別の死傷災害発生状況



- ・ 60歳以上が全災害の20.1%を占めている